

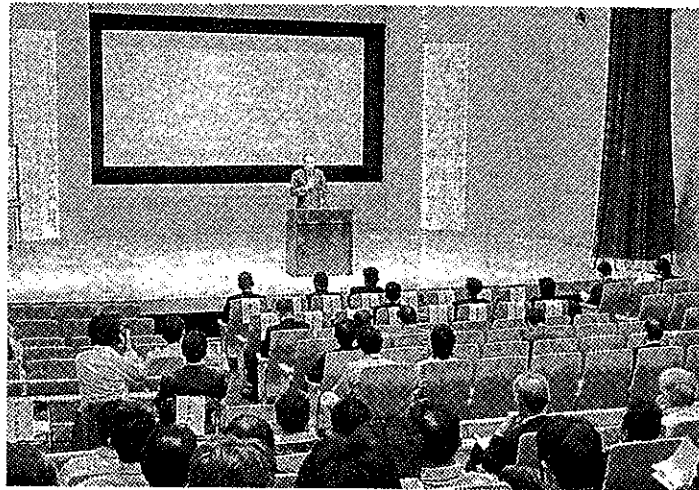
九建日報

発行所
株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 代表 092(431)5861番
FAX 092(431)7613番
購読料 1ヵ月6,300円

北九州支局 TEL.093(921)5011
長崎支局 TEL.095(827)5595
熊本支局 TEL.096(363)1553
大分支局 TEL.097(594)0518
宮崎支局 TEL.0985(24)6688
鹿児島支局 TEL.099(259)3426
<http://www.kyuukennippou.co.jp>

ガラス廃材を再資源化 ミラクルソル協会が講演会



【佐賀】ミラクルソル協会(原裕理事長)は1日、平成25年度(第20回)の講演会を唐津市二ツ子の高齢者ふれあい会館りふれで開催した。参加した国や県の職員、建設業及び建設コンサルタント業者ら約180人は、多くの分野で活躍す

るガラスを資源化した新しい素材に興味を示していた。原理事長は「廃ガラスを基にしたミラクルソルは多孔質間隙構造で軽量かつ強固な特徴を有している。これまでに土木や環境の分野で28工法を提案しており、独立間隙構造の非吸水性のものは盛土材や骨材、地盤改良材として、連続間隙構造の吸水性のあるものは斜面や屋上緑化の保水材、水質浄化のろ過材として活躍している。ガラスを資源化した新しい未来の材料として多くの関心を集めている」とあいさつ。

講演会では、原理事長が「多目的環境材料ミラクルソルの活用技術」、林重徳佐賀大学名誉教授が「有明海問題の本質と再生への展望」について話したほか、前国土交通省事務次官の佐藤直良氏が「最近の国土交通行政」について特別講演を行った。

原理事長は、ガラス廃材の再資源化に取り組んだ経緯や目的のほか、ろ過材として独立行政法人水産総合研究センターのまぐろ飼育研究施設に採用されたことを説明。林教授は海域内の環境悪化の背景に水質浄化の役割を担う貝類の減少をあげ、ミラクルソルを用いた低質改善技術を紹介した。

前国土交通省事務次官の佐藤直良氏は国内の社会資本整備状況、防災・減災の取り組み、建設産業の現状と課題を説明し、「建設業が健全な発展をできるような入札制度などの枠組みを作る事が不可欠」と話した。